

GOLF STYLE

日本ミッドアマ特集!!

www.golfstyle.co.jp

2018年1月5日発行 (奇数月5日発行) 第17巻第1号

ゴルフスタイル

vol.96

2018.1 January

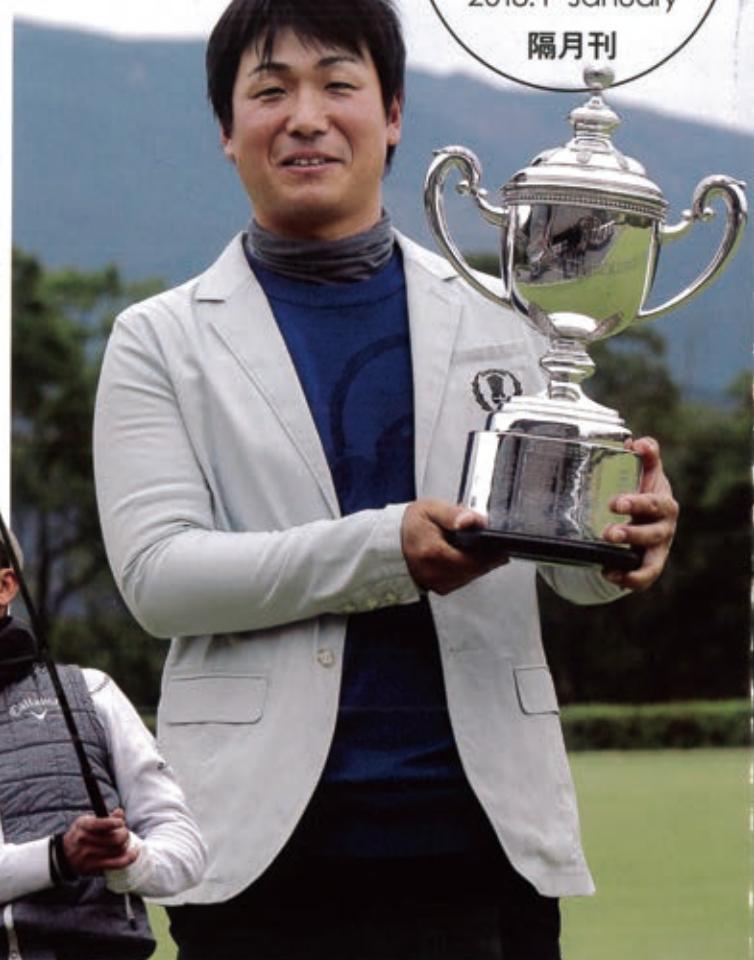
隔月刊



井上 貴弘

谷本 伊知郎

三木 一外



2017 25歳以上のアマゴルファー日本一決定戦!! 四国勢が上位独占!!

日本ミッドアマ出場全135名の クラブ&ドライバー連続写真

会場／阿蘇大津ゴルフクラブ

ギア検証シリーズ③

ドライバーの
「長さ・重さ・バランス」の
三角関係を探る!!



一体、自分に合った「長さ」「バランス」とは!?

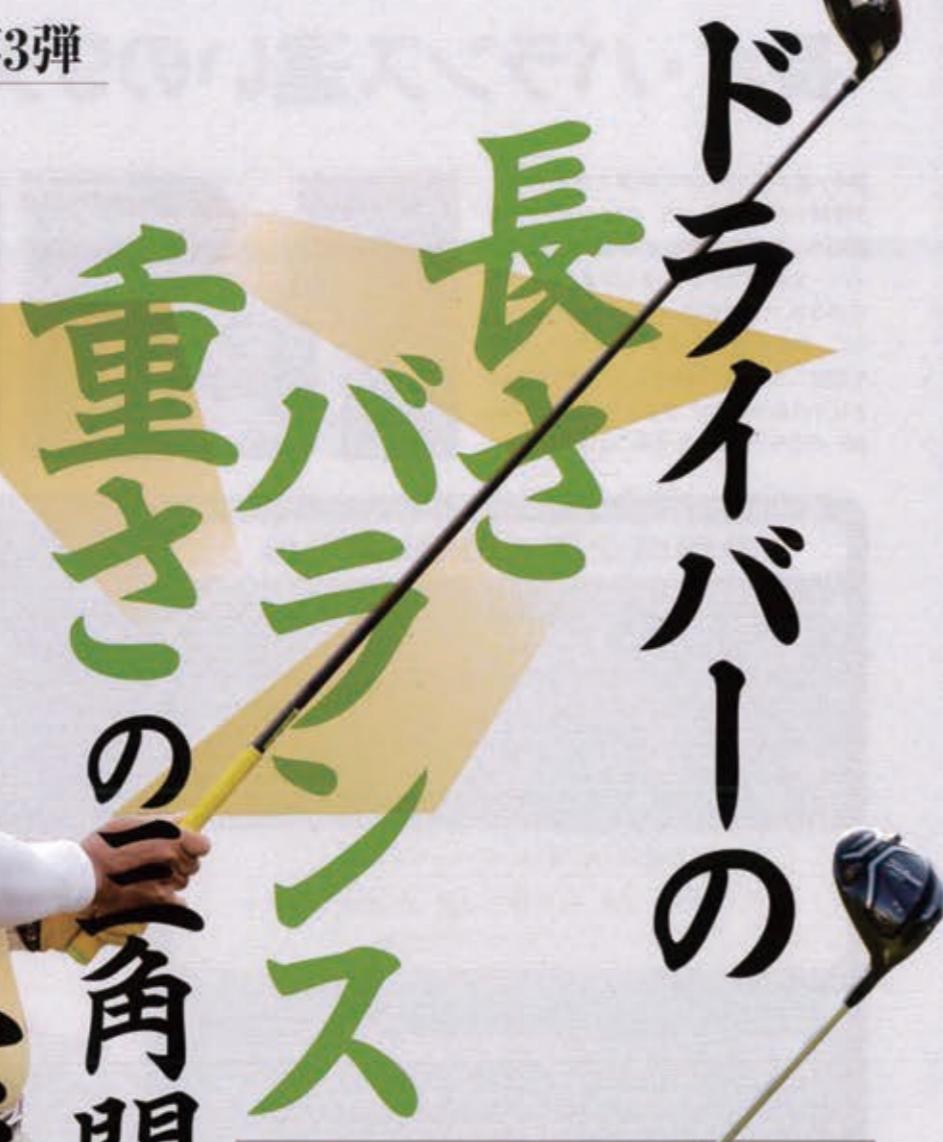


44.5インチを使う昨シーズンのフェデックスチャンピオン、ジャスティン・トマス

ドライバーの長さのブームは、いつの時代もあるもの。長尺が流行れば、その次にやってくるのは短尺ブームだ。どちらも飛んで曲がらないというゴールは同じ。弊誌の「アーブレーヤー」のクラブ特集でも、長さ、バランスというスペックを表記してきた。バランスとは、スイングウェイトとも言われ、文字通りスイング中に感じる重さをアルファベットと数字で表したものだ。ドライバーのヘッド体積460ccが当たり前時代となり、メーカー各社が開発の中で辿り着いた標準スペックが「45インチ」、「D2」なのだろう。しかし、すべてのゴルファーにこのスペックが最適とは言えない。もちろん、残念ながらそれを試せる場所はほとんどない。いつしかゴルファーが振りやすさを犠牲にしてクラブに合わせてしまっているケースが多い。

そこでギア検証企画第3弾として、ドライバーの長さ3種類、ヘッド重量3種類の計9種類のクラブを多くのテスターに試打してもらい、トラックマンの試打データから、長さ、バランスの関係に迫ってみた。一段階深めたクラブ選びを考えてみてはいかがだろうか。

取材協力
オークラランド(世田谷区)、(株)グラビティ、トラックマン(株)
(株) ジオテックゴルフコンポーネント、三菱ケミカル(株)



長さ・バランス違いの9タイプで検証

長さ、重さ、バランスの関係を探るために、3種類の長さ(43、45、47インチ)と3種類のヘッドの組み合わせで9タイプのドライバーを試打できる環境を用意した。すべてのクラブで総重量が上がり過ぎないように、ある程度打てるようシャフト重量を設定したため、「45インチ・D2」が基準とはならなかったが、9タイプでバランスは、B2~E0.5と幅をもたせることはできた。



今回の企画で用意したもの

●ドライバーヘッド

ジオテックGT D-617ドライバー

最適な重心位置でボールを包み込むようなつかまり感を実現し、インパクト効率を高めた高初速ドライバー。いわゆるカチャカチャ機能でシャフト交換やロフト、ライ角の調整も可能。ソールのウェイトで15gの重量調整幅が、企画の趣旨に適していた。

3種類の重量違いのヘッドを用意

①186.2g ②195.3g ③202.5g

※すべてアダプター付の重量



●シャフト

三菱ケミカル・ディアマナBF50(S)

前号のシャフト検証企画で、最もニュートラルな特性だったのがこのモデル。多くの人が試打することを考えて、クセがないBFを採用。長尺にしたときの総重量を考えて、シャフト重量は50g台のモデルとした。



●グリップ

エリートグリップY360

重量／50g±

●試打データ計測

トラックマン4

デュアルレーダーテクノロジーを搭載したトラックマンの最新機種。高感度のレーダービームによって、インパクトの瞬間のクラブとボールのデータを出すことができる。これまでのシングルレーダーよりも詳細なデータ計測が可能。



9種類の組み合わせのクラブを用意して、テスターにそれぞれ3球ずつ試打をお願いしました。

45インチ (バランス／総重量／振動数)

- C0.5／①288.6g／269cpm
- C6.5／②298g／263cpm
- D1／③305.2g／257cpm

43インチ (バランス／総重量／振動数)

- B2／①284.3g／281cpm
- B7／②293.8g／274cpm
- C1.5／③301.2g／269cpm

47インチ (バランス／総重量／振動数)

- C9.5／①291.7g／259cpm
- D5.5／②301.2g／253cpm
- E0.5／③308.4g／248cpm